

取組：生徒の発信力を高める授業改善と外国語教育における教員の専門性向上

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

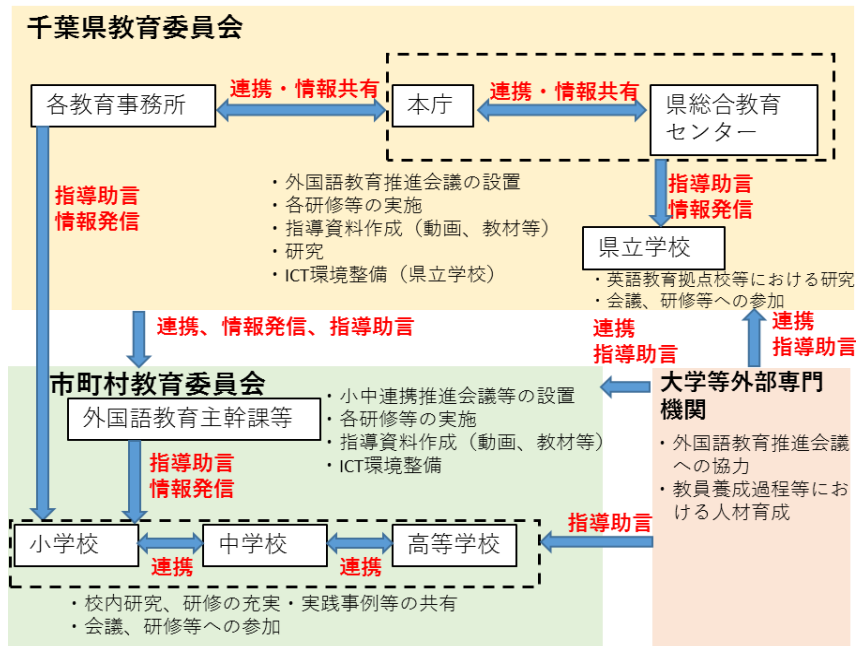
小中高の連携による外国語教育の推進、生徒の英語力向上、教員の英語発話量増加、生徒の言語活動時間増加が課題である。千葉県は、都市部と自然豊かな地域があり、各市町村教育委員会が特色をもって教育活動を行っている。そのため、千葉県の外国語教育を推進していくには、県教育委員会が発信力を働かせ、市町村教育委員会等と連携し、研修や協議会等の実施、教材作成等を行っていくことが必要と考える。

Plan

■取組計画

令和2年度に策定した千葉県外国語教育推進計画に基づき、「教員の授業の質、専門性の向上」「生徒の英語力向上」に取り組んでいく。

■体制



Do

■研修・協議会に関する事業

小中連携推進協議会、指導力・専門性を向上させる研修（小・中・高）の実施

■県独自パフォーマンステスト実践事例集の作成

CEFR A1・A2に対応した「話す」「書く」問題を事例として紹介。

■小・中・高連携モデル事業

各校種2校ずつ、校種間連携を取り入れた授業の実践動画を公開。

■ICTを活用した外国語教育

A I 英会話ソフトを導入した授業改善の研究及びスピーキング学習ソフトの導入

Check

■授業の質の向上

指標 授業の半分以上を英語で発話している教員の割合100%

学年・学科	中学校			高等学校		
	中1	中2	中3	普通科	英語科等	専門学科等
R3年度	68.3%	67.9%	64.4%	38.3%	97.6%	41.6%

■専門性の向上

指標 C E F R B 2相当の資格の取得

中学校教員55.0% 高校教員80.0%

結果 中学校教員35.9% 高校教員64.2%

■生徒の英語力向上

指標 中学校卒業時、CEFR A1相当の英語力がある生徒 60%

高校卒業時、CEFR A2相当の英語力ある生徒 60%

結果 中学校 52.0% 高等学校 40.8%

全ての指標において、目標値を達成していない。新型コロナウイルス感染症等の影響もあったが、教員の授業改善に必要な指導力・専門性の向上が図れるよう県教育委員会が先導的に事業を進め、市町村教育委員会と連携していく必要がある。

そして、教員が授業で困らないように必要な教材等を提供していく。

Action

■今後の改善について

英語教育実施状況調査の結果から、千葉県において、教員の専門性（英語力向上）・指導力向上、授業改善が課題であるため、以下の方向性で施策等を考えている。

①教員の英語力・指導力向上

小・中・高教員に対する研修内容を拡充し、英語力向上できるアプリの導入を行う他、研修と業務バランスなどの実態を明らかにする。

また、大学が開発した英語力向上に関するアプリを活用し、教員が学び続けられるよう無理のないカリキュラム等を開発していく。

②授業改善

A I と英会話ができるアプリを導入校を拡充し、県立学校においてA L T と I C T の効果的な活用が進むよう授業改善を進めるとともに、生徒の英語力向上を図る。

また、今年度作成したパフォーマンステストの検証を進めるとともに、新たにパフォーマンステスト小学校版を追加する。そして、パフォーマンステストを活用するよう研修を行い、授業改善を図る。

成果の普及

パフォーマンステスト実践事例集及び小・中・高連携モデル事業の授業動画等が掲載されている県教委のHP

<https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kbs/kyouiku/gakkou/gaikokugokyouiku/index.html>

